

道尾秀介

少年の『母の死』から

物語は始まる。

それぞれの登場人物たちの視点で
構成される物語は、やがて驚愕の
真実を導き出す。何か真実で何か
虚なのか。

最後まで馬鹿される面白さは
一級品です!!

誰もがもつ光と影。

それを見つめる小耳の物語。

シ

ヤ

ド

ウ

創元推理文庫